




















































## ◎ 県内の景況(情報連絡員報告から)

<5月> 業界の景況(前月比DI値)

雨が広がり、全体の景況は依然として厳しい状況である。  
大型連休の影響を受けた業界が多くあった。

30以上	10~30未満	10未満 ~△10	△10超~ △30未満	△30以下
				

情報連絡員報告をもとに景況についてDI値を作成しました。業界の景況についての項目を「好転」割合から「悪化」割合を引いた値をもとに作成し、その基準は右記のとおりです。

業種		業界の景況(前月比DI値)			
		平成31年2月	平成31年3月	平成31年4月	令和元年5月
製造業	食料品製造業	 0	 △ 20	 △ 25	 0
	木材・木製品製造業	 0	 0	 0	 0
	印刷・出版 同関連製造業	 0	 0	 0	 0
	窯業・土石製品 同製造業	 0	 0	 0	 △ 33
	鉄鋼・金属 同製造業	 0	 0	 △ 50	 △ 50
非製造業	卸売業	 0	 0	 △ 25	 △ 20
	小売業	 △ 33	 △ 33	 △ 33	 △ 33
	商店街	 △ 50	 △ 33	 △ 33	 △ 33
	サービス業	 △ 14	 △ 17	 △ 33	 0
	建設業	 0	 △ 20	 △ 17	 △ 17
	運輸業	 0	 0	 0	 0
その他	 0	 0	 0	 0	

各業界の詳細(前年同月比、業界の動き)が必要な方は本会までご連絡ください。

2. 組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)	
味噌醤油業界	今年度の目標は、多くの消費者の方々に「仙台味噌・醤油」を知って頂き、そして食べて頂けるように PR を継続していくこととした。そのために参加したイベントでは、たくさんの反響があり手応えを感じた幸先の良い有意義なものとなった。これからも組合員と共に一丸となって仙台味噌と醤油を PR していきたい。
製パン業界	昨年あたりから菓子パンと分類される糖配合 10%以上のパンの売れ行きが下降しており、これも健康志向の表れなのかと感じている。数年前までは「〇〇が入っています」「〇〇配合」という製品に足し算をしたものが販売数量を伸ばしたが、最近は「〇〇が含まれておりません」「〇〇不使用」と謳う引き算の製品が売れ行きを伸ばす傾向にある。
水産練製品業界	主原料を中心にコスト上昇が続いているが、思うように商品の値上が進まない。倒産する企業も出ており、全国的に業界全体が縮小してきている。
酒造業界	連休前の仮需の影響があり、また休業日数が多かったことから、販売実績は大きく下がった。一時的なものであって欲しいと願うところだ。
製麺業界	販売量の減少が続いて、厳しい状況が続いている。
木材業界	<p>県内の4月の住宅着工数は1,813戸で、前月比29%、前年同月比36%と大幅に増加している。持ち家、貸家、分譲全てで増えている。消費税増税を睨んでの、3月末までの駆け込み契約分が着工増に表れたものと見られる。</p> <p>原木は天候も良く、順調に出材しており、価格は横ばいから値下がり傾向である。製品は、小口、当用買いが中心で、価格に大きな動きはない。合板の荷動きは活発になっているが、運送コスト等のアップにより、6月から値上げの見込である。</p>
生コンクリート業界	令和元年5月の生コンクリート出荷量は、大型工事や連休などの影響があり県全体で12.1%減少した。また、前年同月比では、震災復興関連事業や大型工事の減少による数量減少が見られ、石巻地区で14.0%、大崎地区で45.0%、県北地区で20.1%の減少であったが、気仙沼地区は18.6%の増加となった。
コンクリート製品業界	<p>組合員の4月の出荷量は、前月比65%と大幅に減少した。前年同月比でも72%であった。生産量は、前月比93%で前年比91%であった。在庫量は前年比99%であった。</p> <p>(※コンクリート製品業界は、とりまとめ時期の関係から1ヶ月遅れ</p>

	の報告です)
砕石業界	特に需給の変化は見られず、この1年間、石巻、気仙沼の湾岸地区は間断なく出荷が続いているものの内陸部の仙台から仙南地区にかけては完全に縮小傾向にある。しかしながら、復興工事は終息したわけではなく、今後も現状維持程度は確保されると思われる。
機械金属業界	組合員によって前月比の売上高・業界の景況にバラつきが見られる。 前年同月比においては、全体的に減少・悪化傾向にある。
再生資源業界	鉄スクラップの5月の価格は4月の下落に引き続き大幅な下落となった。米中の貿易摩擦に伴う中国経済の減速とともに、オリンピック需要も一段落し、国内経済の減速傾向が要因となっている。 古紙価格はダンボール古紙、雑誌古紙が大幅な下げ傾向となった。中国の国内政策の変更により日本からの輸出が激減し(事実上ストップ)日本国内に大幅な余剰感がでてきており、今後の中国の状況如何では紙のリサイクルシステムそのものへの大きな問題となる可能性がある。
繊維業界	長い連休で業務への影響がかなりあったものの、暑さで夏物が動いたため、早めの品揃えが良かった。昨年と比べると、販売価格が上がりつつある。
ゴム製品卸売業界	10連休の影響で稼働日数が少なく、思うように売上は伸びなかったが、月の後半は比較的多忙となり結果的に例年並みに推移した。 ゴム・プラスチック業界として価格改定が多くなってきている。
鮮魚卸売業界	10連休に向けていろいろと準備したが、前半は昨年を超える入客状況で、後半は昨年より客足が落ち込んだ。在庫が消化できず困ったとの声もあがった。
鮮魚小売業界	10連休の後は、例年同様に売上は芳しくない。また、強風の日が多く、漁も少なく入荷量が減少した。巨大ヒラメ、真ダイが非常に多かった。
青果小売業界	異常な暑さがあったものの、農産物への影響も少なく仕入価格は一般的に安く推移した。しかし売上には結びつかない状況で利益も薄い月であった。消費者の農産物原体の購買動向が弱く、加工済調理品や総菜にシフトしたままで、小売業界は厳しい状況が続いている。
食肉小売業界	大型連休を過ぎると売上は落ち着き、食肉の卸量は減少している。
家電小売業界	全国的に気温の上昇を追い風にエアコンの動きが加速、この時期は

	夏のボーナス商戦に向け新製品を投入するメーカーも多く「テレビや白物家電の買い換えの気配」と期待が高まる。販売活動を強化し省エネ性を訴えながら商戦を盛り上げている。
石油小売業界	米中貿易摩擦が激化し長期化している状況の中、先行き不透明な世界経済への懸念や米国が発動を表明したメキシコへの制裁関税による原油需要の落ち込みなどの影響により原油価格が下落したため、国内の石油製品は、小売価格にその影響が反映されたことにより小幅な下落基調が続くと予測される。
花卉小売業界	当月売上については、前年同月比で 101.1%とほぼ例年同様となった。当月は、母の日という大きなイベントがあったが売上は昨年を若干下回る結果となった。主な要因としては、店舗販売が依然として低調なこと、さらに今年は母の日を前に 10 連休があり営業面で予約販売が厳しかったことなどが挙げられる。なお、母の日以外の菊を中心とした仏花等の生花については、高値で取引が推移し売上アップに貢献した。
商店街	<p>(仙台地区A商店街) 労働力不足が課題となっている。</p> <p>(仙台地区B商店街) 5月末にタピオカ専門店がオープンした。連日大勢の若年層が列をつくって並び、両隣の店舗から苦情が出る状況になっている。2カ月前にオープンした外資系アイスクリームに続き、商店街は賑わいが見られる。</p> <p>(大崎地区A商店街) 5月の商況は、農村地帯という地域性を反映して、折からの農繁期であり、さらには前代未聞の 10 連休とも重なって、人出はほとんどなかったに等しい状況だった。先月同様、物販から飲食への商店街の質の転換も踏まえながら、夜の賑わいの在り方も模索すべきと考えるところだ。</p>
自動車整備業界	持込車検台数はほぼ昨年並みと順調。長い連休明けで、登録等が混雑したが、整備には支障がなかった。新車販売は普通車（登録車）が +4.8%、軽自動車+9.5%と 2 カ月連続のプラスとなった。消費税増税前の駆け込み需要の兆候はみられないものの、各社が投入した新型車が伸びている。
ソフトウェア業界	ランサムウェア等のウイルス被害報告が後を絶たない。遠い世界の話題では無く、身近に起こっている事象である。ある会社では復旧もままならない状態で『身代金』の要求があり、業務が数日間停止した上に、最終的にも元通りにはならないようである。仮にシステムが元

	<p>通りになったとしても、停止している間の目に見えない被害は想像に難くない。対策としては日頃のウイルスチェックが重要なのだが、それ以前に利用者側の意識が大事である。一人のルールを守らない人間が居るだけで、企業側のリスクは数千倍、数万倍になる可能性があるため注意が必要である。</p>
警備業界	<p>働き方改革がスタートし、それに伴う人件費の上昇、その他必要経費の上昇は必然的に警備料金のアップに繋がってきた。宮城県警備業協会では4月25日に「働き方改革時代における適正料金」と題したセミナーを開催したところ約200人の参加者があった。その甲斐あって、5月に入って各社料金アップの実効が上がっているとの報告があった。元請建設会社において一定の理解が浸透しているようだ。人手不足は建設会社全体の問題であるため今後更なる取り組みが必要である。</p>
湾岸旅客業界	<p>ゴールデンウィークは、プラチナウィークとなり4月27日～5月6日にかけての10連休であったが、月の半ばと月末は悪天候であった。また、改元を祝し定期船、乗合船の乗船料金を通常1,500円（税込）のところ1,000円（税込）となるキャンペーンを展開した。なお、20日、21日は暴風雨のため運休した影響で、前年同月比で人員は増加したものの、売上は若干減少した。キャンペーン展開は今後も継続していく。</p>
シーリング業界	<p>景況については前月並みに推移している。整いつつある官公庁物件、民間工事物件を消化している状況である。マンションの新築・改修工事を始めとして好調基調だが、一件一件が大中小様々で、事業所間でのバラつきが見られる。今後の予測としては、前年、前々年並みの景況に期待はある程度持てるが、やはり事業所間でのバラつきが懸念される。</p> <p>収益状況は、働き方改革の影響か、他産業に見劣りしない労働環境を確保するため、以前よりも労働時間は減る状況の中、生産性をあげなければならないという状況にある。労務費は時間外や休日出勤などの対応をせざるを得なく、限りある現場予算の中で費用が嵩む傾向にある。当組合としては健全経営をする上で、適正価格、適正工期での受注を働きかけている。</p>
建設業界	<p>国においては、生産性向上や人材確保の観点から工事・納期の平準化を進めるべく各地方自治体を含む発注機関等への浸透を図っているが、特に本年度当初においては極端に仕事が発注されずに、手が空いている状況が続いている。震災復旧・復興事業も残り2年を切り今後の安定的な仕事量の確保に大きな危機感を抱いている。</p>
硝子業界	<p>5月の連休は購買にも大きく影響した。この先、働き方改革が進むことに、経営者にとって不安は募るが、時代の流れに対応した</p>

	<p>い。6月は梅雨の季節で、窓から入る虫除け対策に「網戸」の需要の季節でもある。当組合員にも張替え用網戸ネットの格安キャンペーンを実施し購買を高めたい。</p>
板金業界	<p>連休の影響もあり、業務の予定や段取りに苦勞した月であった。</p>
タクシー業界	<p>実車率は前月とあまり変わらないが、輸送収入は大幅に減少している。LPG価格に変動はなかった。</p>
倉庫業界	<p>前月比の売上高は、ほぼ同程度である。品目別の入庫・出庫量は、金属製品、窯業品、食料品で増加が見られ、全体の荷動きも若干活発化している。</p> <p>前年同月比の売上高は、荷役・運賃が微増であり、売上も微増である。品目別の入庫・出庫量は、農産物や金属製品で増加が見られ、全体としてはほぼ同程度である。</p>
不動産業界	<p>金融機関へのアパートローン等の申込み相談については、銀行側から明確な回答が無く、融資審査期間の長期化と厳格化が目立ってきた。不動産融資については、1年前と様変わりしつつある。</p>